

創造する楽しみ、問題解決の喜び

～ ロボコン秋田県中央地区大会 ～



8月10日、仁賀保中学校でWRO（ワールドロボットオリンピアード）秋田県中央地区大会が行われ、小学生部門に30チーム、今大会から設けられた中学生部門に9チームが参加しました。

小学生部門の課題は、スタートしたロボットが指定されたエリアにピンポン球を置きながらゴールを目指すもので、午前中にロボットを組み立て、午後から競技を行いました。各チーム、課題をクリアしようと真剣な表情。ロボットが指定した場所でピンポン球を置くと「いいぞ、

制限時間内に課題をクリアできるか。祈りを込める… いいぞ」など喜ぶ声が会場に響きました。

科学に挑戦。なんでだろう？

～ 米村でんじろう実験教室 ～

8月11日と12日、スマイルコンベンションホールで米村でんじろう実験教室が行われ、市内外から2日間で約200人の小学生が参加しました。

11日の「シークレットカメラをつくろう」では、段ボールを使ったカメラを作成。用意された部材を使い、外枠、レンズ、シャッターなどを組み立てる作業では同伴した保護者が夢中になる姿もみられました。完成したカメラでさっそく外を撮影すると、特製の暗室でフィルムにきれいな風景が写っているのを見て驚きの歓声が上がりました。夏休みの貴重な体験となったようです。



ピントあわせも大丈夫

平和の尊さを、次の世代へ

～ にかほ市平和祈念戦没者追悼式 ～

8月22日、「にかほ市平和祈念戦没者追悼式」が仁賀保勤労青少年ホームで行われ、戦没者の遺族ら約150人が参列し、犠牲者への黙とうや献花をして平和への祈りを新たにしました。

式典では、仁賀保高校3年生の齋藤友理奈さんが「戦争のない世界を築くため、相手の気持ちを思いやり、平和を語り継ぐ努力をしていきます」と平和への誓いを述べました。

また、遺族会会長の須田豊一さんの追悼の辞などが述べられ、戦没者の冥福、平和を祈念しました。



戦没者の冥福を祈り、花を捧げる

今年もみんなでラジオ体操♪

～ ラジオ体操会～



早朝の体操で身体も心もリフレッシュ！

昨年開催された「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を記念して8月4日、象潟中跡緑地でラジオ体操会が行われ、市スポーツ推進委員11名がサポートするなか市民ら約70人が参加しました。

午前6時から推進員の指導によるグーパー運動などで軽く汗を流すと、30分からの放送に合せみんなでラジオ体操。清々しい朝の太陽を浴びながら第1、第2体操を終えると、参加者は気持ちもリフレッシュできたようで爽やかな笑顔を見せていました。

来年以降も会場を替えながら継続開催する予定です。

「ぎふ清流国体」を目指し熱戦を展開

～ 東北総合体育大会（ミニ国体）・サッカー競技 ～

8月10日から12日の日程で、仁賀保グリーンフィールドとTDK-ASCを会場に東北総合体育大会サッカー競技が行われ、成年男子・少年男子・女子の種別で東北6県の代表チームが「ぎふ清流国体」への出場を目指し熱戦を繰り広げました。

少年男子秋田県代表が強豪の青森県代表を相手に1対0で勝利するなど健闘し大会を盛り上げましたが、秋田県勢は全種別で国体出場を逃す残念な結果となりました。競技場は厳しい暑さでしたが、勝利を目指しボールを追う選手たちに観客から多くの声援が送られていました。



白熱するゴール前の攻防

ごみのない、きれいな公園に

～ TDKボランティア活動クリーンウォーキング ～

8月10日、TDK秋田地区ボランティア活動クリーンウォーキングが南極公園で行われました。

昨年に引き続き2回目の開催となった今回は、173名の社員が参加し、路肩に捨てられた紙くずや空き缶、ペットボトルなどを拾いながら1週2.5kmの竹島潟を、ウォーキング。立っただけで汗が吹き出る厳しい暑さのなか、少しのごみも見逃すまいと側溝や木のかげなども念入りに探し、ごみ袋に入り切らない大きなトタン板などを見つける方もいました。参加された皆さんのおかげで一層きれいな公園となりました。



竹島潟1週2.5kmのクリーンウォーキング